

## おにぎり通信

2015年5月30日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは!私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

川崎市の簡易宿泊所で火災が起こり、宿泊客9名が亡くなった事件から2週間が経ちます。亡くなった方全員の身元が判明するには未だ至っていないそうです。また、この宿泊所は木造3階建ての吹き抜け構造という「違法建築」だったことが分かっています。この事件を機に川崎市は簡易宿泊所の建物構造の緊急立ち入り調査を行うそうですが、「違法建築」とされた宿泊所の宿泊客は行き場を失いかねません。この事件を通じ、生活困窮の中でどう住まいを見つけていくのかという問題の大きさを改めて感じました。

☆5月19日(月)福祉行動報告 1名参加されました。

Aさん(60代) 性いかつそうだん ちょだ ふくしじむしょ い 生活相談のため、千代田福祉事務所に行きました。

次回の福祉行動:6月1日(月)

朝8時30分までに東京駅丸の内北口地下に集合してください。喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチ オ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。

るくしこうどう げんそく 福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。

福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか

中央区福祉事務所•••中央区築地 1—1—1 中央区役所4階

 $\hat{\mathbf{1}}$  代由区福祉事務所•••千代由区九段南 $\mathbf{1}$ —2—1 3階

聖イグナチオ生活相談室・・・千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会内

**<死後の話?>** 

<sup>たかい</sup> 今回はちょっと変わったお話をします。

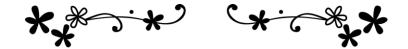
人は死んだら無になるというのは、どうも昔の考えのようです。最近は死後の世界を認める科学者も増えてきています。脳神経外科の世界的権威であるアメリカのエベン・アレクサンダー医師もその一人です。彼はかつては死後の世界を否定していましたが、病気で脳死の状態になり、そのときとある不思議な体験をしてから、死後の世界の存在を確信したそうです。

その経験とは以下のようなことです。

あの世に向かおうとした彼の前に美しい女性が現れました。その人は、彼にこの世に帰るように強く言いました。それに従い、彼はこの世に戻ってきたというのです。その際、彼は病室で祈っている家族たちの姿も見えたとのことでした。後日、過べてみるとあの世で見た女性は、子供のころ生き別れになった。妹だと判明しました。

このように、科学的な方面から「あの世」の存在が論じられています。

私は、今までろくなことをやってきませんでしたが、「心を入れ替えて善いことをすれば、神様もゆるしてくれるかなぁ」と思ってこの話を書いてみました。





ょっゃ なかま れんらくさき ロッ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)